

様式1-1

学習面のチェックリスト		
(0:ない, 1:まれにある, 2:ときどきある, 3:よくある)		
領域	項目	評価
聞く	聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き間違える)	0, 1, 2, 3
	聞きもらしがある	0, 1, 2, 3
	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	0, 1, 2, 3
	指示の理解が難しい	0, 1, 2, 3
	話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)	0, 1, 2, 3
話す	適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口である)	0, 1, 2, 3
	ことばにつまったりする	0, 1, 2, 3
	単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	0, 1, 2, 3
	思いつくままに話すなど、道筋の通った話をするのが難しい	0, 1, 2, 3
	内容を分かりやすく伝えることが難しい	0, 1, 2, 3
読む	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える	0, 1, 2, 3
	文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする	0, 1, 2, 3
	音読が遅い	0, 1, 2, 3
	勝手読みがある(「いきました」を「いました」と読む)	0, 1, 2, 3
	文章の要点を正しく読みとることが難しい	0, 1, 2, 3
書く	読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていないまっすぐに書けない)	0, 1, 2, 3
	独特の筆順で書く	0, 1, 2, 3
	漢字の細かい部分を書き間違える	0, 1, 2, 3
	句読点が抜けたり、正しく打つことができない	0, 1, 2, 3
	限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない	0, 1, 2, 3
計算する	学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい(三千四十七を300047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている)	0, 1, 2, 3
	簡単な計算が暗算でできない	0, 1, 2, 3
	計算をするのにとても時間がかかる	0, 1, 2, 3
	答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい(四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算)	0, 1, 2, 3
	学年相応の文章題を解くのが難しい	0, 1, 2, 3
推論する	学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較。「15cmは150mm」ということ)	0, 1, 2, 3
	学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図)	0, 1, 2, 3
	事物の因果関係を理解することが難しい	0, 1, 2, 3
	目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい	0, 1, 2, 3
	早合点や、飛躍した考えをする	0, 1, 2, 3

<評価規準>

- ・「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の6つの領域(各5つの設問)の内、少なくともひとつの領域で該当する項目の12ポイント以上であれば、学習面に困難が疑われる。